

EU百科事典

A5判・640頁 定価 24,200円(本体 22,000円+税10%)
ISBN978-4-621-31025-0

2024年12月刊行予定

ヨーロッパはなぜ統合したのか？

戦乱と対立を繰り返してきた「ヨーロッパ」地域の平和と統合の試みとして生まれたヨーロッパ連合（EU）。歴史的にも稀有な試みは、「ヨーロッパ」の概念に何をもち、またどのようにそれを作り上げてきたのか。欧州統合の取り組みを、EUを軸に政治・経済・文化・法律・安全保障・外交など多様な側面から探求する画期的な事典。

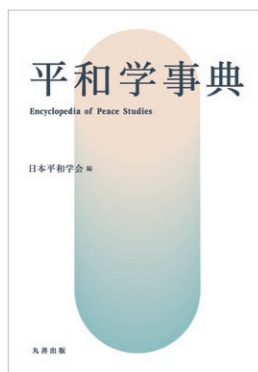


©European Commission Audiovisual Library (左上), ©NATO (右上)
©Bundesarchiv Koblenz (左下), ©島海基樹 (右下)

EU百科事典

A5判・640頁
定価 24,200円(本体 22,000円+税10%)
ISBN978-4-621-31025-0

関連商品



平和学事典

日本平和学会 編

A5判・778頁
定価 26,400円(本体 24,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30808-0

何が平和を脅かすのか、何が平和の基礎となるのかを究明する「平和学」。日本平和学会を編集母体として、計276項目を立項した日本の平和学の総力を結集した学問事典。日本平和学会設立50周年記念出版。

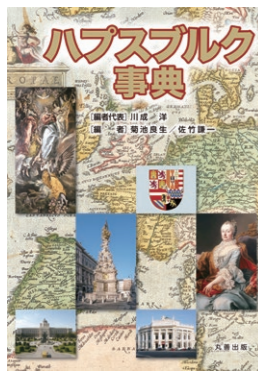


中欧・東欧文化事典

中欧・東欧文化事典編集委員会 編
羽場久美子 編集代表

A5判・866頁
定価 24,200円(本体 22,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30616-1

多様な文化と人々が混じり出会う「はざまの地域」である東欧、中欧、中東欧。この地域の文化や歴史の全体像を340項目で見開き完結構成でたどる中項目事典。



ハプスブルク事典

川成 洋・菊池良生・佐竹謙一 編

A5判・826頁
定価 24,200円
(本体 22,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30681-9

中世以来600年、欧州史の中心にいたハプスブルク家。文化・政治・経済などあらゆる面に多くの影響を与えたその家を軸に、欧州の歴史を見る中項目事典。



EU統合による歪みとポピュリズムの台頭

欧州各国市民の声から知るその内情

日本語字幕監修：高屋定美(関西大学商学部 教授)

セット本体価格 120,000円+税10%
各巻 本体 40,000円+税10%

DVD / 全3巻 / 各巻50分 / 2021年(原版2020年)
日本語字幕・英語字幕版(音声：英語)

EU統合が各国に求めたもの、各国の不満とは何か。さまざまな職業の市民と行動しながら、彼らが今日の政治状況をどう捉えているかに迫る。



©European Union 2024 - Source : EP

丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17 神田神保町ビル 営業部
TEL (03)3512-3256 FAX (048)852-5591(受注センター) <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

ご注文はお近くの書店まで

EU百科事典 定価 24,200円(本体 22,000円+税10%) ISBN978-4-621-31025-0 冊

お名前

ご住所 〒

TEL

取扱店

編集代表 羽場久美子 (青山学院大学名誉教授)

編集委員 田中素香 (東北大学名誉教授)

中西優美子 (一橋大学法学部教授)

最新情報・詳細はこちらから丸善出版ホームページへ



注文書

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次(流通)・弊社間での商品手配の目的に利用させていただきます。

tom.24.A0e

丸善出版

◆電子書籍のお求めはこちらから



※電子版発売、および販売ストア等に変更になる場合がございます。

刊行にあたって(一部抜粋)

EU・NATOの拡大、ユーロ危機、イギリスのEU離脱、欧州の移民・難民の受け入れとポピュリズムの成長、ウクライナのEU・NATO加盟をめぐるロシアのウクライナ侵攻……。デジタル化や気候変動、エネルギー問題に至るまで、今や国際情勢の重要な問題でEUが関わらないものはほとんどないと言っているのではないだろうか。

それほどに、EUの問題は今やアメリカや中国・東アジアと並び、世界の3大鼎壁として並び立っている。特に新しい規範や制度を作り、平和と繁栄を維持しつつ、パンデミックの猛威や戦争の中でも、日々現代的な新たな規範と課題を設定し、それに挑んでいるのがEUであり、国連に並びたつ存在でもあると言えよう。

(中略)日本人や世界にとって、最も関心の高い経済や、最も理解しがたく難しいが統合理念の根幹でもある法、さらに最も身近だがなかなか全体像が見えなかった文学・音楽・芸術などをすべて取り込み、総合的な、かつ読みやすく一般読者にとってもわかりやすい、政治・経済・法・社会・文化を網羅する優れた事典を作りたいと考えた。

以上の試行錯誤の上に、本書の構想が実現した。本書、『EU百科事典』は、丸善出版がこれまで出版してきた、18冊の各国・各地域の文化事典の成果に依拠しながら、ヨーロッパ統合全体を多層なガバナンス、すなわち、歴史・政治・機構・法・経済・社会の柱で、さらにその背景にある豊かな文化について、宗教・アイデンティティ・音楽・芸術・人の移動・教育・ジェ

ンダーなども網羅した包括的・画期的なものである。

(中略)加えて、日本人がEU研究を考える際の、日本・アジアにおける歴史的和解の重要性と困難さ、地域摩擦と地域協力の問題をも検討しようとした。さらに現在のロシア・ウクライナ戦争をめぐる、ウクライナとEU、NATOとの関係を、法・政治・経済・地域研究の各層から可能な限り「多面的に」、20年、30年持ちうる客観的かつ多様な分析により考察しようとした。

編集方針として、可能な限り、大家、中堅、ジェンダー、若手のバランスを取り、海外の研究者にも積極的に協力して頂き、最先端のかつ多様で客観的、歴史的、宗教的、思想的な視点も加えようとした。

(中略)学校でも地域でも大学でも、一般の方々でも有用にかつ長く使っていただけの事典を目指し鋭意努力してきたが、それでも、時の流れにより、あるいは価値の多様性や分析の不十分さから、読者よりご指摘いただき直していく事象や分析もいくつももあるかもしれない。是非暖かいご指摘をいただければ幸いである。

EUの目指す不戦共同体、エネルギーの共同、多様性の中の統合、地域・国境を越えた共同と平等の理念が、紛争地域を含む世界の各地で実現され、豊かな未来を創っていくヒントを提供できれば、と心から願いつつ――。

2024年12月吉日
編集代表
羽場久美子 田中素香 中西優美子

目次 (予定)

10 東欧諸国(旧社会主義圏)とEU拡大

アラブ諸国/中東・東欧諸国(旧社会主義圏)へのEUの拡大/ポーランドとEU/ハンガリーとEU/チェコスロヴァキアの軌跡:中欧における二つの国の自立と連携/ルーマニアとEU/スロヴェニアとEU/クアチアとEU/バルカンとEU/ロシアとEU/ウクライナとEU/バルト諸国とEU/EUと敵対するルカシェンコ体制のベラルーシ

11 21世紀のEUの諸問題

イギリスのEU離脱(Brexit)/EUとアメリカ/NATOの拡大/EC/EUと中国/フランスの大統領選挙/ドイツの右翼ポピュリズムと民主主義/福祉国家とEU/ベルギー・ルクセンブルクとEU/欧州の「イリベラルデモクラシー」:ハンガリーと反EU、極右の成長/ポーランド:国境の間では、親EU、政府は反EU?/統一通貨ユーロの外国為替市場と為替相場/EU諸国の格差とポピュリズム運動

12 EUと音楽

ベートーヴェン、歓喜の歌/市民社会と音楽:芸術と娯楽/ドイツ音楽とEU/オーストリアの音楽とEU/イタリア・カンツォーネとヨーロッパの民謡/オペラとヨーロッパ/南欧の音楽とロマ、カルメン/フランス・シャンソンとEU/現代フランス・シャンソンとEU/北欧のヘヴィメタルとヨーロッパ/EU内で台頭する周辺のパピュラー音楽/ROUと音楽

13 EUの芸術・文化政策

世紀末ウィーンとEU/EUの文化政策/EUと国際美術展覧会/EUとICOM(国際博物館会議)/EUとイタリアの文化政策/EUとオランダの芸術文化政策/EUとイギリスの文化政策/EUとドイツの芸術文化政策/EUとフランスの文化政策/ヨーロッパと文化財・都市文化政策/EUとクィア・アート

14 EUと文学・言語・文化

ポーランドにおけるホロコースト受容と文学/ハンガリーのホロコーストと文学/ホロコーストと強制収容所(フランスの文学)/ドイツ・オーストリアのホロコーストと文学/EUにおけるジェンダー問題と文学/中欧のジェンダー文学/ベルギーの文学(たち)/EUの多言語主義政策:その歴史と現状/EU内外のスラヴ言語/少数使用言語の文学/言語マイノリティから見たEU/EUの異言語間コミュニケーション/ヨーロッパの移民文学/ヨーロッパ文化としての映画祭/EU圏のサッカー

15 グローバリゼーションと人の移動

シェンゲン協定/EUの労働移動とモビリティ政策/EUと移民・難民危機/イタリアと移民・難民/ウクライナからEUに向かう移民・避難民/ベラルーシの移民・難民と国境を経由する中東難民/ロシアにおける移民との遠い共存/イギリスと移民・難民危機/フランスと移民危機/EUにおける移民法・難民法:移住と庇護に関する法/EU共通航空政策

16 EUの諸法

EU基本権憲章/EU市民権(EU Citizenship)/EU法の優位性/EU法の直接効果/EU諸価値/EUの措置(派生法)/EU法の統一的適用/民事事項における司法協力/EU法と日本企業

17 EUとビジネス

EU法とビジネス/物の自由移動/EUにおける設立・開業の自由/EUにおける労働者の自由移動/EU競争法/EUにおける個人データ保護/EUとデジタル化

01 欧州はなぜ統合したのか:統合の起源と宗教

欧州の分断と統合/ローマ帝国とEU/EUとハプスブルク帝国/キリスト教:カトリック教会とEU統合/フリーメイソン/プロテスタントと欧州統合/パチカンと欧州統合/EU統合における世俗主義/ユダヤ教と欧州統合/イスラムとヨーロッパ/アフリカとヨーロッパ

02 ヨーロッパ・アイデンティティと欧州市民

独仏和解と歴史教科書/ドイツとイスラエルの「和解」/ヨーロッパのアイデンティティ/「ヨーロッパの帰還」/「中欧アイデンティティ」/ヨーロッパの統合理念/欧州市民と欧州市民権/EUと境界線

03 EUの偉人たち

クーデンホーフ=カレルギーと「パン・ヨーロッパ」/バルカンの連邦構想/ロベール・シューマン/ジャン・モネ/ウィンストン・チャーチル/コンラート・アデナウアー/ヘルムート・シュミット/ウィリー・ブラント/シャルル・ドゴール/フランソワ・ミッテラン/マーガレット・サッチャー/ジャック・ドロール/ヨシユカ・フィッシャー/ヘルムート・コール/ヴァレリー・ジスカールデスタン/ドラギ/アンゲラ・メルケル/エマニュエル・マクロン/ドナルド・トラスク/ウラジミール・プーチン

04 西欧諸国による戦争と和解(政治)

ベネルクス(ベルギー、オランダ、ルクセンブルク)小国とEU/連邦制か、国家連合か?/ドイツとEU/フランスとEU/イタリアとEU/イギリスとEU/スペインとEU

05 経済・通貨統合の発展

経済統合の深化と拡大 ①深化/経済統合の深化と拡大 ②拡大/石炭鉄鋼共同体/EEC(欧州経済共同体)/欧州原子力共同体/関税同盟:モノの自由移動/共通農業政策(CAP)/単一市場(域内市場)統合/単一市場の拡大(南欧、中東欧とのGSC)/通貨統合:EMSからユーロ誕生まで/ユーロ圏の拡大/ユーロ危機とユーロ制度の改革/EU財政

06 EU経済とヨーロッパ主要国経済

EUの域内貿易依存度/ドイツ経済とEU/フランス経済とEU/イギリス経済とEU/産業構造

07 EC/EUと法

EU基本条約/ローマ条約:EUの基礎となった条約/EEO条約の経済的背景/単一欧州議定書(域内市場)/マーストリヒト条約:ECからEUへ/アムステルダム条約/ニース条約/欧州憲法条約/リスボン条約:EUの基本を示す条約

08 EU:制度と機構

欧州委員会/欧州議会/EUの選挙制度と政党・会派/理事会/欧州(首脳)理事会/EU司法裁判所/欧州中央銀行(ECB)

09 ヨーロッパと各国の結合

ギリシャとEU/フィンランドとEU/オーストリアとEU/スウェーデンとEU/スイスとEU/ノルウェーとEU/トルコとEU/近隣諸国政策

